

バレーボールでおこる外傷のリハビリテーションと予防について



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 柔道整復学科 助教

武田 真由子 Takeda Mayuko

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : バレーボール・外傷・リハビリテーション・予防



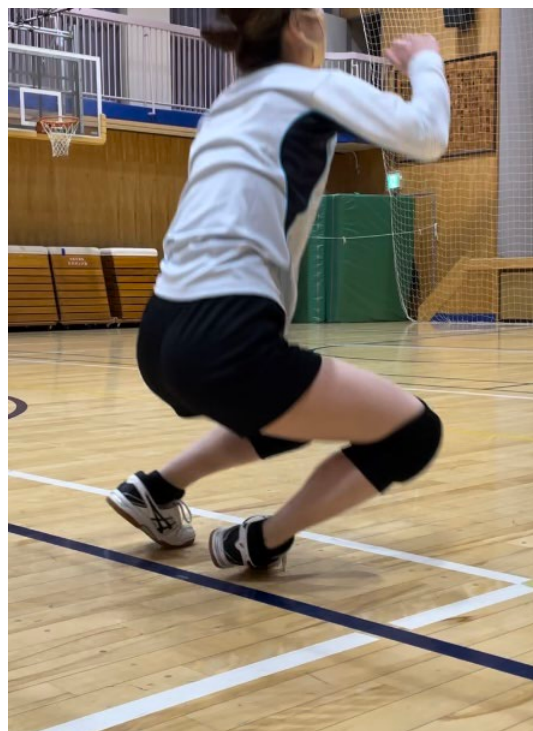
研究の概要

SDGs 目標 3：すべての人に健康と福祉を

バレーボールにおける外傷は、選手が常に激しい身体的な活動をおこなうことから発生しやすい。ジャンプの着地や急制動の反復が、下肢や上肢に慢性的な疾患を引き起こす原因となる。これには関節への負担や筋肉の不均衡が含まれ、適切な治療やリハビリテーションが必要となる。

急性外傷では、ネット際での相手との接触やボールとの強い接触が挙げられ、これにより捻挫や骨折などが発生し、迅速な治療が求められる。

外傷の治療やリハビリテーションに加え、予防の観点から各部位に身体的機能評価をおこない、特に慢性的な疾患のリスク因子抽出することで、要因を特定し適切なリハビリテーションをおこなうことで、再発のリスクを低減することができる。競技者の健康とパフォーマンスの両面を向上させるためのアプローチが必要であると考ええる。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

クラブ活動や中学・高校・大学などのバレーボールチームにおける外傷予防となる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

・日本柔道整復接骨医学会所属

【学会発表】

・「柔道整復師を目指す女子大学生の現状と課題」

【書籍】

・柔道整復師 Clinical Text (P. 8, P. 70～87)